

職位/Position : 教授 教員氏名/ Name : 染谷 芳臣	オフィスアワー/Office hours 月曜昼休み、火曜日昼休み 水曜日昼休み 金曜日昼休み	研究室/Office number F 203
教員の所属学会並びに社会活動・課外活動顧問など/Affiliated Academic Society & Social Activity 日本会計研究学会、日本管理会計学会		
ゼミ名/Seminar 企業経営と会計・財務(新たな経営者像から観た会計・財務)		
2年次までに修得していることが望ましい科目/ Preferable courses should be taken before the end of second-year studies 初級簿記、中級簿記、会計学		
研究指導内容とその進め方/Teaching system and content I. 初年度(3年次)/First year(third-year students) 春学期は、企業経営者と株主又は投資家及びその他の利害関係者との『対話』のために必要な会計情報(財務諸表)の基本的な作成プロセスを説明する。財務諸表は企業の経済実態を投資家の意思決定に適合した形で忠実に表現することが理想の姿であるが、そこに限界あることを理解してもらう(問題の発見)。春学期の目標を会計の基本的な論理を身に着けることである。秋学期は千葉市に本社のあるコンビニエンスストアのミニストップ株式会社(イオン株式会社の連結子会社)を事例に財務諸表を読む力と財務的分析力を養う。その中でコーポレートガバナンスコードや投資家の新たな投資スタイルであるESG投資を紹介しつつ、財務上の新たな経営スタイルであるROIC(投下資本利益率を重視する)経営や統合報告書の開示にみられる利害関係者との『対話』型経営を討議形式で研究する。 また、就職活動に関する情報、特に企業情報の入手方法に関してSNSではわからない情報を外部講師やゼミ0Bなどとの対話の時間を設け実施していく。 II. 次年度(4年次)/Second year (fourth-year students) 春学期の初めに、研究対象とする企業の選定を行ってもらう。3年次で学んだ手法を使って、企業価値を推定してもらう。卒業論文は、各人が選定した企業の『企業価値』を向上させるには、どのような財務戦略を構築するかを最終目標とする(問題解決)。授業では論文の様式・書き方及び作成マナーなどを指導しながら、各自が発表していく。研究発表を継続することで最終的に卒業論文として提出してもらう(およそ20,000字程度)。 III. 卒業論文の指導、その他指導について/Graduation thesis guidance and others 卒業論文は、上記のように20,000字を最低限度とする。Wordで作成し作表やデータ処理はExcelを活用する。また、3年次の討論も含め発表はPower Pointを活用する。したがって、PCは染谷ゼミナールにとって必需品である。卒業論文指導は、論文の様式・書き方など一般的な内容は講義で行うが、個々の卒業論文は、その発表のつど、改善点などを指摘する。発表するほど評価は高くなる。上記での述べたように、就職活動の支援やプライベートな悩みにも対応する。		
教科書、参考書などについて/Textbooks, reference books 教科書は、『会計法法規集』中央委経済社 2021年版、日本証券アナリスト協会編『企業価値向上のための資本コスト経営』日本経済新聞社出版である。なお、適宜授業の資料や関連文献などを配布する。		
ゼミライフ:(合宿、ゼミ会等)/Seminar activities(meetings, training camps) 従来最低年2回程度ゼミ会として飲食を伴う会合を設けていた。しかし、コロナ禍の中で新しい生活様式が遵守しつつ、ゼミ会などもゼミ生の柔軟な発想で親睦の企画を示し、積極的に快適なゼミライフを築きあげてもらいたい。		
ゼミ生に対する要望・注意等/Requests, comments 先生の座右の銘は、而今(じこん)と無垢清浄光である。染谷ゼミナールのモットーは、「よく学びよく遊べ」である。また、無断欠席は認めない。緊急な事態で休まなければならない場合も、必ず事後に先生のメールまたはスマホに連絡を入れることが大切である。		